

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019 年 1 月 30 日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2019/01/30 17:21:11

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019 年 1 月 30 日号

1. 学会関連情報

○企画委員会・国際対応委員会 IRPA 水晶体 TG アンケート phase3 について

国内放射線関連学会の意見を集約し、日本保健物理学会が国内の放射線関連学会の代表し、日本の意見として回答を国際放射線防護学会に送付する予定です。ご意見をお寄せください。(2月12日まで)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=141>

○企画委員会 企画シンポジウム「医療における放射線防護を考える -医療被ばくと職業被ばく-」

(1月12日(土)に開催)

実施報告書を公開しました。参加者へのアンケート結果も掲載しております。

当日配布資料は演者の確認が取れ次第追って公開いたします。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=74>

○第9回 技術士制度・試験講習会 主催：日本原子力学会 共催：日本保健物理学会

(2月16日(土) 13:30-17:00 頃、一般社団法人 原子力安全推進協会 第1、2、3会議室)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=77>

○編集委員会 電子ジャーナルとしての「保健物理」53-4号記 URL よりダウンロードできます。(1月21日)

学会誌の内容がJ-STAGEに公開されるまで(おおむね4週間後)、上記URLに53-4号PDFファイルを掲載しておく予定です。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/academic/page.cgi?id=41>

2. 関連する研究情報

(論文情報)

○Scientific Reports 9, Article number: 581, Published: 24 January 2019

福島第一原発原子炉建屋の床をスミアろ紙で拭き取り α 粒子イメージング検出器で測定。比較のために核燃料施設から得たPu試料を同じ検出器で測定。(Pu-238からの5.5 MeVの α 粒子を主に測定)スミアろ紙の α 線スペクトルとPu試料とは明確にリニアな相関関係を示した。以上から、福島第一原発原子炉建屋の α 粒子は核燃料由来であると結論。 α 放出核種の表面汚染密度は4 Bq/cm²を超えていた。

Detection of alpha particle emitters originating from nuclear fuel inside reactor building of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant

Morishita Y et al

<https://www.nature.com/articles/s41598-018-36962-4>

○Int J Radiat Biol. 2019 Jan 24 (電子版先行掲載). doi:10.1080/09553002.2019.1572249.

ヒトと動物での放射線影響に関するデータベースと組織バンクの現状をまとめた総説。日本については、原爆被ばく者データ、実験動物試料の組織バンク、福島動物データについて紹介。原爆被ばく者、マヤック作業員、チェルノブイリ事故などのヒト組織バンクについては、触れられていない。

Radiation databases and archives - examples and comparisons

Zander A et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30676164>

○Journal of Geophysical Research: Atmospheres, First published: 15 January 2019

福島第一原発事故にともなって放出された放射性Csの輸送と沈着における気象シミュレーションの不確実性を評価。放射性Cs沈着のもっとも支配的なメカニズムは、全地域にわたる乾性沈着と霧沈着に引き続いて生じたin-cloud scavenging (雲スカベンジング、掃去)であることを示唆。

Deposition and dispersion of radio-cesium released due to the Fukushima nuclear accident: Sensitivity to meteorological models and physical modules

Kajino M et al

<https://doi.org/10.1029/2018JD028998>

3. ニュースや社会の動き

○厚生労働省 パブコメ：意見募集 意見・情報受付締切日：2月7日

「医療法施行規則の一部を改正する省令案」及び「医療法施行規則第一条の十一第二項第三号の二ハ(1)の規定に基づき厚生労働大臣の定める放射線診療に用いる医療機器を定める告示案」

内容：医療機関における放射線安全管理体制の導入と未承認放射性医薬品の規定

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495180311&Mode=0>

○放射線審議会「東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた緊急時被ばく状況及び現存被ばく状況における放射線障害防止に係る技術的基準の策定の考え方について」及び概要版を公開 平成31年1月

<http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/houshasen/houkoku.html>

○原子力規制委員会 環境放射線モニタリング技術検討チーム 放射能測定法シリーズ No. 24「緊急時におけるγ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」の改訂について議論(1月17日)

http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kankyo_houshasen/00000013.html

○NUMO「次世代と共に地層処分を考える」を公開

<https://www.numo.or.jp/project/>

○OECD/NEA 報告書：緊急時対応及び防災に対する包括的アプローチに向けて 公開

Towards an All Hazards Approach to Emergency Preparedness and Response

<http://www.oecd-nea.org/rp/pubs/2018/7308-all-hazards-epr.pdf>

○ICRP「Radiological Protection from Naturally Occurring Radioactive Material (NORM) in Industrial Processes」公開意見募集(2月22日締切)

<http://www.icrp.org/consultation.asp?id=17B51F60-CBF9-476C-825A-401935223E87>

○ICRP「Radiation Weighting for Reference Animals and Plants」公開意見募集(3月1日締切)

<http://www.icrp.org/consultation.asp?id=C77D0B1B-1C77-4A25-AB32-0D24F8ACFCC8>

4. これからのイベント

○ONPO放射線安全フォーラム 第59回放射線防護研究会「IAEA安全基準の策定動向と課題」

(2月16日13:30-17:00、(株)千代田テクノロ 本社ビル2階会議室 東京都文京区湯島1-7-12)

<https://www.rsf.or.jp>

○医療放射線防護連絡協議会 第40回「医療放射線の安全利用」フォーラム

(2月17日10:30-15:30、首都大学東京 荒川キャンパス大視聴覚教室)

「医療放射線診療放射線従事者の個人管理の現状と課題」

<http://www.innervision.co.jp/congress-event/event/20190217>

○原子力機構「福島研究開発部門 成果報告会」

(2月20日13:30-17:00、いわき芸術文化交流館アリオス(福島県いわき市平字三崎1番地の6))

廃炉と環境回復～若手研究者の挑戦～

<https://fukushima.jaea.go.jp/initiatives/cat01/bumon-houkokukai2019.html>

○欧州線量評価委員会(EURADOS)WG7主催 内部被ばくモニタリングトレーニングコース開催

TECHREC(EURADOS RP188)について学ぶ。internal dosimetry、internal contamination monitoringの原理と実習。

(2019年3月25~29日、IAEA ウィーン、応募締め切り:2月1日に延期)

http://www.eurados.org/-media/Files/Eurados/announcements/2018/TECHREC_Training_Course_1st_Announcement_final.pdf?la=en&hash=29C91B67DA5C381BCD30BF2FBF3845CFA9E037F6

○米国科学アカデミー Challenges in Initiating and Conducting Long-Term Health Monitoring of Populations Following Nuclear and Radiological Emergencies in the United States (2019.3.12 アメリカ、ワシントンDC)

<https://nas.us8.list-manage.com/track/click?u=18fe6f8f25ec0bc7509e65e97&id=25db34d0ea&e=256f81d9b5>

○カナダ放射線防護学会、CRPA 年会 2019 Conference (5月27-30日、2019 カナダ、オタワ)

<http://crpa-acrp.com/home>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○京都府立医科大学 放射線診断治療学講座 助教 BNCTの開発研究をするにあたり、生物学者を募集

(締切:2月10日(消印有効)) <http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/radiol/common/pdf/BNCT.pdf>

○広島大学原爆放射線医科学研究所計量生物研究分野 助教（常勤）1名（締切：2月28日（必着））

専門分野：生物統計学あるいは疫学

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/112522/Detail-j.pdf>

○国立研究開発法人国立長寿医療研究センター バイオセーフティ管理・研究室長（締切：3月29日（必着））

<http://www.ncgg.go.jp/research/recruit/index.html>

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —
【発行】一般社団法人日本保健物理学会
【編集】同企画委員会
【発信元】同学会事務局
TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659
E-mail: exec.off@jhps.or.jp
— —